

朝鮮民主主義人民共和国：闘争と建設の 75 年

自主的ラテンアメリカのための青年運動渉外担当
ルーカス・ルビオ

親愛なる同志と友人の皆さん

私は朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を記念するこの重要な国際討論会に招待してくれたことについてブラジル先軍政治研究センターの名義で朝鮮社会学者協会に心からの謝意を表します。

ブラジルでわれわれは自国民にチュチェ思想と先軍思想を普及するためにさまざまな方面で活動しています。

インターネットには朝鮮革命の経験に興味を持っている人をより多く集める内容と現存する出来事を載せた記事が数多く掲載されています。

9 月 9 日は、世界のすべての自由な人民にとって特別な日となります。朝鮮人民が外部から操られる哀れな傀儡国家に引き換えに強力な自主独立国家建設の道、社会主義の道に進むことを決心した日を考えてみてください。

一部の重要な歴史的な問題点を言及するのが必要だと思います。

われわれは 1945 年から 1948 年の間の 3 年間で絶対に忘れてはなりません。南朝鮮でのアメリカの直接の軍政は人民委員会の革命的活動に対するあらゆる敵対的行為を産生し、また煽りました。

金日成主席の幅広くて人民的な指導力と 1945 年に日本帝国主義を追い出した金日成主席の指導のもとに固く結束した朝鮮人民の団結は朝鮮を占領しようとするアメリカの計画をひどく無力化させました。

アメリカは自由選挙のすべての予測を覆し、朝鮮人の中の不和を招き、傀儡国をでっち上げ、李承晩とその一族を就任させることを一方的に決定しました。

この措置は、アメリカの露骨的な共和国の南半部の占領により「柔らかい」というベールを被らせて南半部の朝鮮人の中に自分の政権を持っているという幻想を造成しました。われわれはこれがどれひとつも明確でなかったことを知っています。

1948 年にもそうだったし、今日もそうです。傀儡政権である「大韓民国」の出現はアメリカの独自の決心であり、その決心には自らの問題を決定しようとする朝鮮人民の自主権に対する尊重がありませんでした。

共和国の南半部における傀儡国家の出現は社会主義と朝鮮人民の自主権に対する深刻な脅威となりました。なぜなら、それは朝鮮分裂と共和国の南半部における完全に敵対的で反共的な武力と国家機構の設立を意味したからです。

共和国の南半部では人民委員会が抑圧され、隣接した共和国の北半部地域の人民委員会は実際の脅威に直面しました。

それゆえ、1948年9月9日、朝鮮民主主義人民共和国の創建は、自分の革命闘争経験を固守し、自分自身の利益を守ることでできる真の国家を創建する決心を下した朝鮮人民の自主権と自衛の行使でありました。

朝鮮民主主義人民共和国は朝鮮で唯一に合法的な国家です。それは朝鮮民主主義人民共和国が朝鮮人民によって創建されて運営され、抗日革命戦争の時期に樹立した人民革命政府を根幹としているからです。

一方、「大韓民国」はアメリカの直接的な保護と監視のもとにアメリカの法に則った組織でつくられ、日本のファッショ植民地統治の時期にあった暴圧機構をアメリカの時代にも多く保存しました。

金日成主席が朝鮮民主主義人民共和国の内閣首相に推戴されたのを朝鮮人民は当然のこととして見なしました。あの方がほかならぬ民族解放のための理論的・実践的路線を打ち出した方であり、侵略者に反対する武装闘争に自分の生の数十年を捧げた方でした。

李承晩は、朝鮮人民が日本帝国主義が強いた厳しい法のもとであえいでいるとき、大部分を朝鮮から遠く離れていながら何もしませんでした。李承晩はアメリカの忠犬としてワシントンの指示に服従しました。

逆に、主席は人民の中におり、朝鮮革命の最高人物として尊敬を受け、外部のいかなる指示や要求に服従したり、頭を下げたりせず、朝鮮人民を自分の唯一な案内者にした領袖でした。

朝鮮民主主義人民共和国は創建された初期から敵が強いた大きな難関に直面しましたが、奇跡の創造者になりました。アメリカが1950年に起こした戦争の準備にきゅうきゅうとしていたのと時を同じくして、朝鮮民主主義人民共和国は自分自身のための近代的で先進的な工業中心地を建設しようとしました。

朝鮮民主主義人民共和国は創建された当初、友邦諸国(ソ連と東欧の創建されて間もない社会主義諸国)との協力に基づいて、しかし基本的には自給自足によって多様かつ能力が増大する経済を持っていました。

周知のように創建されてわずか2年もならない1950年6月25日、朝鮮民主主義人民共和国はアメリカ帝国主義が起こした侵略戦争から自分の祖国を固守すべき今まで体験できなかった最大の試練に直面しました。

朝鮮民主主義人民共和国は二回目の民族解放を成し遂げる課題に専念し、全人民を敵の侵略を撃退して領土から追い出す戦いに組織動員しました。

朝鮮人民は祖国解放戦争勝利70周年を迎えたばかりですが、この特別な日とともに

われわれは厳しい戦争で勝利した朝鮮民主主義人民共和国の奇跡と賢明性について追憶し、考えてみなければなりません。

アメリカ帝国主義の主な目的は朝鮮人民に反対するかつてない厳しい侵略戦争によって朝鮮民主主義人民共和国を圧殺し、自分らの新植民地主義支配を全朝鮮に拡大することでした。

帝国主義者の目的は達成されませんでした。なぜなら、朝鮮民主主義人民共和国が1953年にアメリカが苦い停戦をしなければならなかったからです。

これは、アメリカの自負心に打撃を与え、かれらは今日までも朝鮮戦争を忘れていません。

戦争の3年間、朝鮮民主主義人民共和国は人民を土台にして信じられないほど活躍しました。

朝鮮民主主義人民共和国は厳しい条件と敵の爆撃、破壊、ジェノサイド、数多くの犯罪、莫大な人的損失などを克服しました。朝鮮民主主義人民共和国は戦争の時期、崩壊や死滅しませんでした。

朝鮮民主主義人民共和国の組織と経済機構は最後の勝利を保障するためにこぞって働きました。人民と軍隊は一心同体となって朝鮮民主主義人民共和国を最後まで死守しましたが、それは自分自身の生命と名誉、尊厳を守ることを意味したからです。

戦争が終わった後、朝鮮民主主義人民共和国はより強くなりました。戦後、国家と経済の復旧建設は世界歴史に永遠に金文字で記されるでしょう。人民はチョンリマ(千里馬)を馳せて勤労者と農民、兵士とインテリのための真の社会主義楽園を打ち立てました。

もっとも破壊的な戦争が終わってから7年しか経っていない1960年に1939-1945の間にヨーロッパで起こったすべての戦争よりもっと多い爆発物が落ちた創建されたばかりの朝鮮民主主義人民共和国は自分の経済を完全に復旧し、生産率は戦争前の1950年より成長しました。

朝鮮民主主義人民共和国は朝鮮人民に住宅と職場、社会的安定、公民的権利と相対的に豊かであり、平穏な生活を与える近代的で先進的な社会主義国家に復旧されました。

外部的な見地から見ると、数十年間、朝鮮民主主義人民共和国は民族解放運動と反人種主義的で反資本主義的な闘争で多くの支援と寄与をした全世界の被抑圧人民の友邦国でした。

今日、アフリカとアジア、ラテンアメリカでは朝鮮民主主義人民共和国の支援によって建てられた国家が多いです。それらの国には最も厳しいときに支援してくださった朝鮮の指導者に敬意を表して「金日成」という尊名を冠した通りと大道路、広場、

工場と総合大学が多いです。

朝鮮民主主義人民共和国が常に朝鮮人民だけが自分の問題を解決できるという思想に基づいた平和的な北南対話を主張したという事実をわれわれは決して無視してはいけません。

朝鮮民主主義人民共和国は常に北南対話を主張し、友愛的な手を差し伸べたが、残念ながらもアメリカ当局者の「お陰」によって北と南は私心のない、また平和的な関係を結ぶことができませんでした。

アメリカの利益に服従して「大韓民国」は北と南の接触を何回も破綻させ、自国民の間に朝鮮民主主義人民共和国の人民に対する敵意を植え付けました。これは、現世界の最も悲しくて悲劇的なシナリオの中の一つです。

1990年代に朝鮮民主主義人民共和国はアメリカとその連合勢力がつくり出した耐え難い試練に再び直面しました。朝鮮人民を窒息させようとする(今までも続けられている)制裁によって生み出された経済における膨大な問題は試練の時期をもたらしました。

アメリカは朝鮮民主主義人民共和国を軍事的に包囲し、朝鮮半島で新しい戦争を挑発しようとしてきました。この時期、朝鮮民主主義人民共和国は社会主義と自主の道で二者択一の選択をすべき決定的な試練に直面しました。

金正日総書記の指導のもとに朝鮮人民は朝鮮民主主義人民共和国を尊厳ある核保有国の地位に引き上げるために強力な核およびミサイル計画を立てました。朝鮮人民は朝鮮民主主義人民共和国を反撃もできないほど打撃できるだろうというアメリカの妄想を粉砕しました。

朝鮮民主主義人民共和国の頼もしい中枢である人民軍は自分の防衛力を高めたばかりでなく、人民と協同して経済建設もしました。革命的なチュチェ思想に基づいて朝鮮民主主義人民共和国の経済は自立的な土台に基づいて酷い制裁の中でも人民のすべての要求を実質的に充足できる多様化された生産基地を建てました。

今日の世界で朝鮮民主主義人民共和国は金正恩総書記の指導のもとに疑う余地もない成果を収めた社会主義の鑑として自主的で生命力のあるものになっています。朝鮮民主主義人民共和国は世界人民を革命と反帝、自主、社会主義の道へと導く闇の明かす灯台です。

朝鮮民主主義人民共和国は世界の主人と自称し、人民の運命を決定できると考えるアメリカに日増しの苦い参敗を与える先端核およびミサイルの兵器廠を持ったことによって尊敬を受けている国家です。

朝鮮民主主義人民共和国は最大の圧力の中でも絶対に屈しない鋼鉄の意志と決断性の輝かしい鑑です。朝鮮民主主義人民共和国は人民が喜ぶ不興で近代のかつ先進的な国を建てることを決心した自主的な自由独立国家です。

全世界にある朝鮮民主主義人民共和国の友人であるわれわれには朝鮮で起こる真実を伝播し、朝鮮民主主義人民共和国について悪宣伝する西側のメディアのデマと中傷に可能なすべての手段を動員して打撃を与えるべきより重要な任務が課されています。

チュチェ思想を学ぶ朝鮮人民の友人であるわれわれの義務は朝鮮民主主義人民共和国に対する真実を研究し宣伝するわれらの活動を積極的に強化することです。

われわれは朝鮮民主主義人民共和国を窒息させようとする犯罪的な経済制裁と朝鮮民主主義人民共和国の存在を不安にするアメリカのさまざまな軍事的企図について暴露すべきです。

朝鮮民主主義人民共和国に対するわれわれの連帯と情は限がないし、常に強化されるべきです。

私は堂々たる朝鮮民主主義人民共和国の創建 75 周年を心から祝います。

75 年間、もっとも特出し発展した朝鮮を建設した金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の賢明な指導に栄光を捧げます。